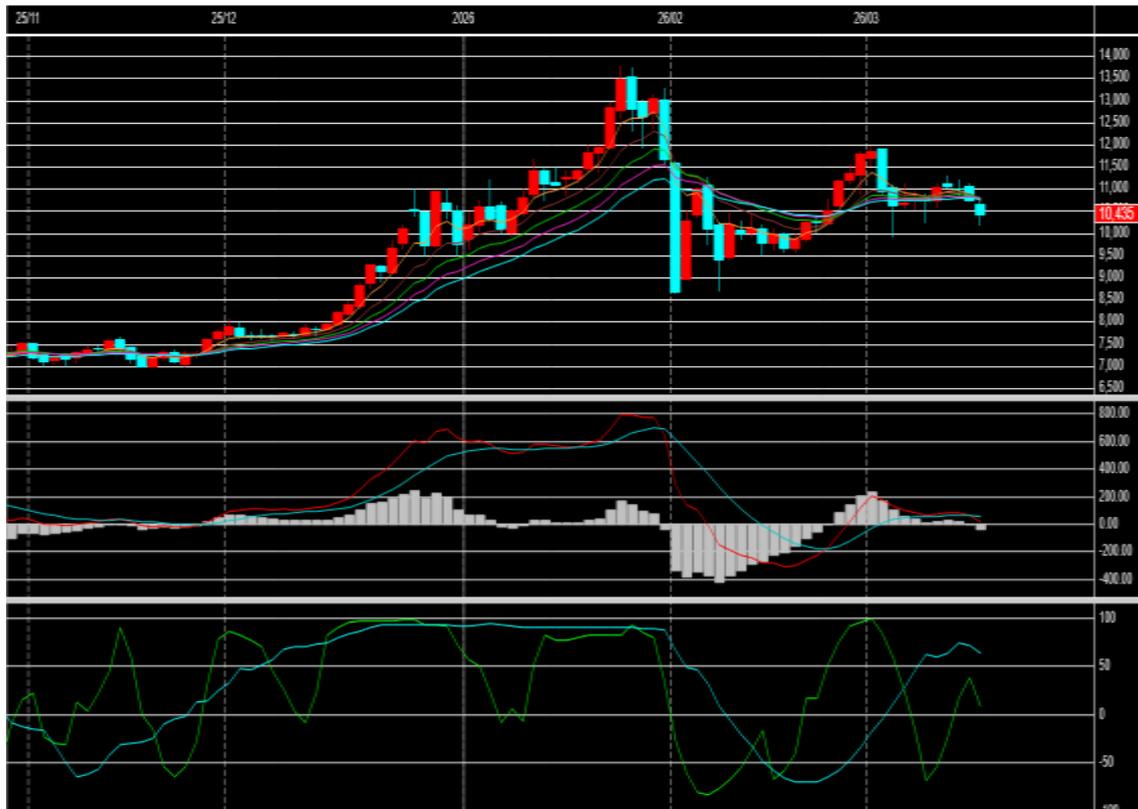


<白金標準、信用収縮で目先 10000 円の攻防・・・>



(出所：オアシス)

イラン戦争が勃発して逃避需要の商品である金標準価格が 1864 円の下落を示している。特に株価も下落し、債券では金利が上昇するなど、株安、債券安、ドル高の動きを見せており、ドル建て貴金属は軟調な動きを示している。白金標準でも 3 月 2 日に 11983 円を試すも 16 日現在で 10193 円まで下値を模索するなど 1790 円の下落を見せている。

特にイラン戦争の出口が見えない事から原油価格の上昇で高止まりを見せ、原料高に伴うインフレ懸念が強まる状況下で、景気商品である白金価格は高値が抑えられる値動きになると思える。また流動性資金の流れでも、不確実性が高まりを受け、債券や投資ファンドから逃避の動きを強めている。白金市場でも中国市場の広州先物で白金の取組高は、29411 枚から 25239 枚へ減少し、NY マーカントイル取引所のプラチナ在庫は 18.2 トンから 18.1 トン、世界のプラチナ ETF は 60.91 トンから 59.33 トンへ減少するなど、イラン戦争で投機の買いは強まっていない事を物語っている。そのため現在の白金標準先物は、静観ムードを強めている。ただ需給に立ち返ると 4 年連続の供給不足であり、需給を考慮すると 10000 円を割り込む事は難しく、4 桁への回帰は売られ過ぎの域に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、**シグナル** も切り下げだし。RCI では**短期**が下落し、**長期**も下げている。特に日足が狭い指数平滑移動平均線のレンジから離脱しており、10000 円を試す可能性は強まっていると思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 11,620,000 円(2026 年 3 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 121,440 円(2026 年 3 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>